

東久留米第五小学校で体験授業を行いました

－アイマスクをつけて目の見えない世界を体験してみよう！

ブラインドサッカーのボールで遊んでみよう！－

スフィーダ世田谷FC 2023年2月20日

2月20日(月)東久留米第五小学校にて、4年生の4クラス(133名)に、見えない世界の体験、ブラインドサッカーのボールを使ったゲームや遊びの体験会を行いました。寒い日が続いていましたが、一人の欠席もなく、4年生全員が参加してくれました。

小岩井亜樹選手の講話では、子どもたちが積極的にたくさんの質問をしてくれました。

“生活の中で便利な道具は？”という質問で、実際に視覚障がいを持った方が利用しているスマートフォンのボイスオーバー機能を使ってみました。見た目はみんなの知っているスマートフォンとまったく同じ。でも視覚障がい者用のボイスオーバー機能を使うと、目が見えなくても電車の乗り換えや、色々なことを調べることができることがわかりました。

“生活で困ることは何か？”という質問では、いつも駅まで行く道が工事していたり、道路の視覚障がい者誘導用ブロックに自転車や物が置いてあったりすると、遠回りしたり、ぶつかってしまったという話を聞いて、道路の視覚障がい者誘導ブロックの大切さを伝えることができました。

休憩時間中にも小岩井選手の周りに子どもたちがたくさん集まり、一人暮らしをしている話や、電車でも一人でできる話をして、子どもたちと仲良くなりました。

また、ブラインドサッカーのボールを使ったグループのゲームでは、どうやったらうまくできるか、グループで自主的に話し合いがされて、見えない世界で、協力しあったり、工夫したりする姿も見られました。

お昼には、おいしい給食もいただきました。東久留米第五小学校のみなさん、先生方、ありがとうございました！（報告：加藤富美江）

